

### 3年産新米、2,200~2,700円安(8月の市中取引)

8月のスポット市場は「古米＝低調」「新米＝安値」スタートの展開。新型コロナ禍で需要を喪失した古米の持ち越し在庫が前年よりもさらに多く、その消化が優先されているため、3年産早期新米への買いが見送られる傾向になったことが要因。作柄も一部地域で不安があるものの、主産地の生育はおおむね順調で、全体供給は過剰が続くとみられている。産地側が当初の予想よりも弱気で、集荷価格を大幅に引き下げたこともあり、スポット市場も下げ修正が早かった。

8月末現在、関東あきたこまちは前年産同期比2,200~2,600円安。関東コシヒカリは2,500円安、千葉ふさおとめ・ふさがねは同2,600~2,700円安。過剰環境だった平成26~27年産のハシリ水準でのスタートとなった。千葉ヒメノモチ新米も1等で産地置場1万2,600~2,700円、前年産同期比2,200円安のスタート。古米の終値をほぼ引き継ぐ格好。

令和3年産米の市中取引(8月末)

(関東着値60kg包装込み、消費税抜き)

産地	銘柄	等級	3年産			(参考)過去5カ年の同期相場				
			8/31現在	前年差	前年比	R2年産	R元年産	H30年産	H29年産	H28年産
茨城	コシヒカリ	1等	10,700	▲ 2,500	81%	13,200	14,700	14,100	14,200	13,000
茨城	あきたこまち	1等	9,700	▲ 2,600	79%	12,300	14,400	13,700	14,200	12,800
茨城	ひとめぼれ	1等	9,700	-	-	-	-	13,700	14,100	-
千葉	コシヒカリ	1等	10,700	▲ 2,500	81%	13,200	14,700	14,100	14,200	-
千葉	あきたこまち	1等	10,100	▲ 2,200	82%	12,300	14,400	13,700	14,200	12,800
千葉	ふさおとめ	1等	9,600	▲ 2,600	79%	12,200	13,700	13,500	13,800	12,500
千葉	ふさがね	1等	9,400	▲ 2,700	78%	12,100	13,700	13,400	13,700	12,400
千葉	ヒメノモチ	1等	12,600	▲ 2,200	85%	14,800	16,700	12,300	9,800	12,800

【市中取引】特定の場所・期間・市場(いちば)を指さず、日本で流通しているあらゆるコメが取引対象。

【市中相場】200俵前後の取引単位での玄米60kg当たり価格(消費税抜き)。特定の場所の出来値を指すわけではなく、本社が取材によって調べ、判断している。

茨城あきたこまちのハシリ相場

